

図-3 設計基準対策

(その他自然事象、火災防護対策、溢水対策)

【工事概要】

- ① その他自然事象への対策：竜巻による飛来物の衝突防止対策として、屋外にある海水ポンプ等の安全上重要な設備の健全性を維持するため、海水ポンプ室エリアへの鋼板、ネットの設置等を行った。
例) 飛来物防護壁設置、防護ネット設置
- ② 火災防護対策：地震等により既存の消火水系統が使用できない場合を想定し、消火水バックアップタンク等を設置した。
例) 消火水バックアップタンク、ポンプ設置、(外部火災)防火帯設置
- ③ 溢水対策：屋外に設置している純水タンク等が地震により破損した場合を想定し、タンク堰外への溢水を構外に排水するための立坑および排水トンネルを設置した。
例) 屋外タンク溢水対策

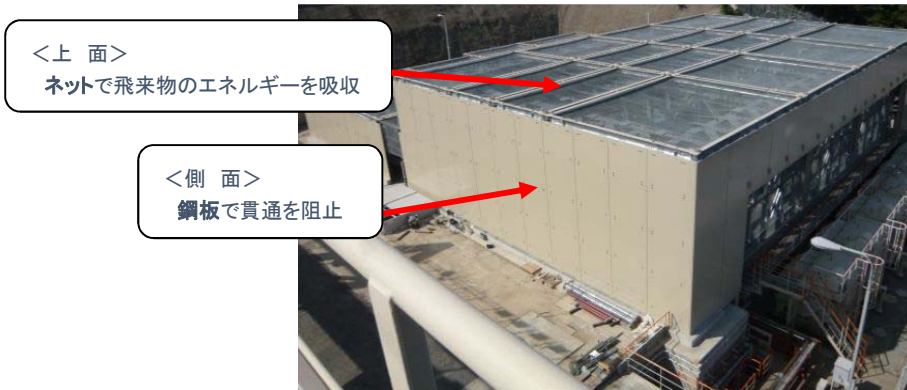
[下線の対策を下記工事概要図に示す]

【工事概要図】

【その他自然事象への対策（竜巻対策（例））】

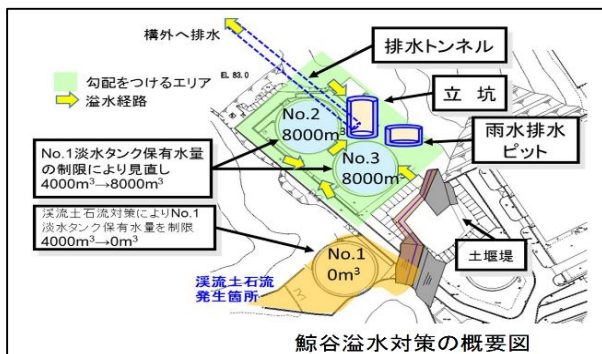
＜飛来物防護壁設置、防護ネット設置＞（海水ポンプ室）

※風速 100m/s の竜巻を想定



【内部溢水対策】

＜屋外タンク溢水対策＞

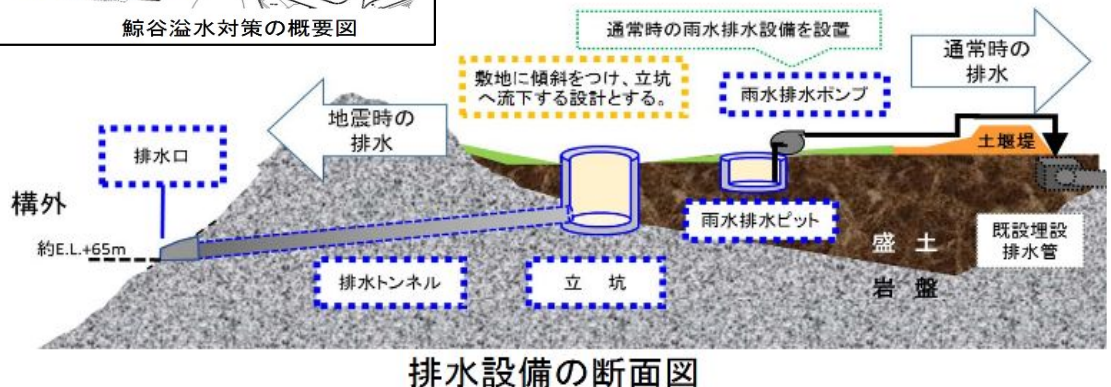


通常時の排水

雨水は、雨水排水ピットへ流入する。雨水排水ピット内に溜まった雨水は、雨水排水ポンプにより新設排水管を経由して既設排水管より排水される。

溢水時の排水

淡水タンクの接続配管の破断による溢水は、立坑へ流下し、排水トンネルより排水口を経由して構外へ排水される。



排水設備の断面図